

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	南さつま市立大笠中学校	児童生徒数	43人
-----	-------------	-------	-----

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

① 学習支援ソフトでの復習【5教科】



・教師は、サポート・見届け・助言アドバイスを行う。

① 振り返りカード

キュピナ学習時間 (2)年 氏名

学習目標:自分で計画を立てて、自分でキュピナをどんどん進める。

○ 時間までに計画を立てて、50分間集中してキュピナを行う。

	国語	社会	数学	理科	英語
5/18	漢字 読み	歴史 ローマと 大2つの世界			
5/24		歴史 幕府政治 の歴史			5/24 復習
6/30			式の言い		
7/14		はいしん 17-7777	式の計算		
9/12	漢字 ひまわり	地理 日本の地域			
10/	漢字				

○ 計画していなかったところをした場合は、その内容を赤で記入する。

<毎回、振り返りカードに記載>

- ・最初に学習したい内容、目標を立てる。
- ・理解できたものには○をつける。
- ・追加した内容は赤字で記載。
- ・授業後に教師が確認する。

② 「合い合い活動」におけるお互いの振り返り【全教科】



・お互いを尊重しながら、意見の交換を行わせる。

③ 配信した「振り返りシート」での確認【社会科】



- ・毎時間または単元ごとに、「振り返りシート」で学習内容、分かったこと、考えが変わったことなど記載させる。
- ・ロイロノートで配信している。

取組についての概要 (成果)

- ① 生徒自ら学習目標、学習計画を立てて、学習支援ソフトを活用した復習に取り組ませている。今、自分が最も苦手と感じている部分、学習したい部分を重点的に復習することで、学力の向上を図っている。毎回、復習した内容を記録することで、分かったこと、できるようになったことが記録されている。
- ② 本校が継続的に取り組んでいる話し合い活動（本校では「合い合い活動」と呼んでいる）を通して、分かるようになったこと、考えが深まったことなどお互いの振り返りを行うことができている。
- ③ 社会科では、授業の終末に「振り返りシート」で授業を受けて分かったことなど記載させている。ロイロノートでの配信のため、評価に生かすことが容易になった。